

町の木・モチノキ

広報

はさみ

平成3年 10月
No.344

町の人口 (9月末)

- ・総人口 15,782人
- 男 7,595人
- 女 8,187人
- ・世帯数 4,035世帯
- ・転入22人・転出31人
- ・出生13人・死亡9人

町の花・ツツジ



9月29日、波佐見中体育大会より

スポーツの秋を満喫

波佐見の活性化を考える

波佐見の活性化について、七月号から九月号まで六人の人に、それぞれの立場から意見を話していただきました。

農業については、最近農地が荒れてきているので、その対策を早急に検討しなければいけないなどの意見が出ました。窯業についての意見は、もっと付加価値の高い商品をつくらなければ波佐見は伸びることは出来ないとのことでした。そして、九月号では、商店の活性をシールによって

変えていくことや、グループによる地域の活性について話していただきました。

活性化の要素としては、波佐見の主産業である窯業や農業の発展、商店の発展、グループなどによる活性化のほかに、地域の活性化もまた大切だろうと思います。

そこで、今月号ではこのテーマの最終回として、現在町内には二十二の地区がありませんが、そのうちの三地区の事情を聞いてみました。

過去15年間の郷別人口推移 (人)

	昭和50年	昭和60年	平成3年	平成3年 昭和50年×100
中尾郷	912	762	659	72.3%
三股郷	342	249	212	62.0%
永尾郷	899	916	890	99.0%
小樽郷	476	518	570	119.7%
野々川郷	403	349	327	81.1%
湯無田郷	2,028	2,091	1,961	96.7%
井石郷	991	927	897	90.5%
鬼木郷	403	357	343	85.1%
金屋郷	664	645	640	96.4%
折敷瀬郷	1,914	2,364	2,316	121.0%
宿郷	1,401	1,608	1,676	119.6%
村木郷	549	685	713	129.9%
皿山郷	659	639	601	91.2%
稗木場郷	535	617	690	129.0%
田ノ頭郷	486	561	554	114.0%
川内郷	463	455	445	96.1%
岳辺田郷	422	437	432	102.4%
甲長野郷	248	244	249	100.4%
乙長野郷	463	576	550	118.8%
協和郷	275	367	635	230.9%
志折郷	372	387	402	108.1%
平野郷	121	156	161	133.1%
合計	15,026	15,907	15,923	106.0%

波佐見は決して過疎の町ではありません。人口の動きをみても、昭和50年からの比較では6%増え、ここ数年はほぼ横ばいの状況が続いています。肥沃な農地と、伝統産業のやきものがあり、就職口は、ほかの町に比べれば多く恵まれた町だといえるでしょう。

こうした波佐見の状況の中、町内の各地区別の人口の動きは決して安定しているとはいえません。上の表に昭和50年から平成3年までの地区別人口の変化を掲げていますが、増えている地区もあれば、減っている地区もあります。特に、三股郷、中尾郷、野々川郷などの地区は大きく減少し、折敷瀬郷、宿郷などの中心地区は増えています。南地区も増えているところが多く、特に協和郷は町営住宅の建設で2倍以上に増えています。



にぎわった「納涼三股ビアガーデン」

三股郷

住んでて良かったと思える環境を

三股は人口の減少が著しいところ。昭和50年の人口は三百四十二人ですが、平成三年には二百十二人にまで減っています。この十五年に、実に三十八%の減少です。一軒、また一軒とほかの地区に転居していきます。そんな三股のことを三股一水会の会長 恵美和義さん(32)は「川があって、山あいで、私は好きですね」といいます。

三股一水会ができたのが今年の四月。「三股の発展と地域おこし」を目的にしています。メンバーは九人。「何かをしたい。何かをしなければ」と思っても活動する場がなかったと言ってメンバーに加わった人もいます。年齢は、二十八歳から四十歳。

八月二十四日に初めての活動として「納涼三股ビアガーデン」を開きました。一昨年までは、夏祭りが開催され演芸大会も行われていましたが、今では青年組織の崩壊などで出来なくなっています。その



恵美和義さん

代わりとして一水会が計画したのがビアガーデンです。

「郷内の人がかかりたくさん来てくれ、予想以上ににぎわいました。こうした祭りは本当に必要なんだと思いましたが」と嬉しそうに恵美さん。「本当は人手が足りなくて大変だったんです。カラオケも司会者がいればもっといいものになったかもしれません。でも、何よりも喜んでもらえて良かったですよ」。

会の活動第一弾は成功だったといえます。今後の活動については、これからメンバーと相談して決めていくそうです。無理をせず、出来ることからやっていきたいとのことでした。

「自分なりに、夏祭りとか三股川の美化、子ども公園、虫の里づくりなどアメニティ計画を考えているんですよ。三股に住んでて良かったと思えるような環境をつくっていか

ければいけないと思っ
す。郷の歌やシンボルマ
などもあったらしいです
と恵美さん。

人口減少が続く三股。青年

宿郷

伝統行事は私たちの誇り

「伝統の行事を続けてい
ることを私たちは誇りに思っ
ています」と話す宿郷公民館
長の黒板信行さん（59）。

宿の主な行事に、夏越祭り、
鹿山相撲、文化祭、郷内一周
駅伝などがあります。

夏越祭りは、郷内の小中学

というよりも中堅層に近い人
たちのグループが、自分たち
の住んでいるところを、なん
とか良くしていこうと頑張っ
ています。

生およそ二百人による子ども
みこしや、青年による演芸会
が今年も七月十五日に行われ
ました。

子どもみこしは、全員がそ
ろいの法被を身にまとい、父
兄など大人たちが引く宝船も
加わってにぎやかに郷内を一
周しました。この行事は育友
会主催で二十年続いています。
夜の演芸会は、青年たちに
より行われています。かつて
の波佐見では、ほとんどの地



青年による演芸会



小中学生 200人が参加しての
子どもみこし

鹿山神社の境内いっばいに見物客が
訪れる 400年の伝統を誇る鹿山相撲



宿での主な行事



青年を励ますソフトボール参加者

区で青年による演芸会が開か
れにぎわっていましたが、町
青年団の解散により様変わり
しています。婦人会や壮年会、
あるいは各班で出し物を担当
して続いている地区もあれば、
演芸会そのものがなくなった
地区もあります。今年も、青
年による演芸会は宿だけにな
りました。ただ、宿でも青年
部に入っている人は少なく、
青年団OBや婦人会などの協
力を得て続けています。宿郷
壮年会副会長の内海猛さんは
「地域青年団活動が無くなり
つつありますが、もともと地域
の人たちが協力して青年活動
を育てることが必要だと思っ
ます」と話してくれました。
七月三十一日には、青年たち
を励ます意味も含めて親善ソ



黒板 信行さん

フトボール大会を開きました。
黒板さんは「宿では、三十

歳代から四十歳代の人が活動
の中心になっています。先輩
から受け継いだことを守りつ
つ、さらに若い人に教えてい
きます。二年前に郷内でアン
ケート調査をしたんですが、
今は行事が多くて大変だけど、
みこしや相撲、文化祭などは
ぜひ続けてほしいとの意見が
多かったですね。何といても
も郷の人が良く協力してくれ
ています。一人ひとりの負担
があまり大きくならないよう
注意し、無理を言わないよう
にしています。今年の敬老会
でも、各班の婦人部で踊りを
出してもらい、青年部の協力
もあって、大変喜んでもらい
ました。

行事計画などの会議を開く
といういろいろ意見が出ますが、
それだけ皆さんが一生懸命な
んだと思います。」
九月二十三日に行われた鹿



坂口輝善さん

山相撲は四百年の伝統があるといわれています。毎年、町外からも多くの力士が参加し大変にぎわっています。神社境内には郷内の人がたくさん応援に集まり、郷外からの見



昨年実施された扇松登山

物客もたくさんいます。多くの人口を抱える宿郷ですが、全体が一つにまとまり皆で盛り上げようとする姿勢が感じられます。



人形の使い手は、アタックスのメンバーを含めて16人が現役として活躍しています。（写真は、今年8月21日の公演から）

意気盛んな熟年・青年

皿山郷

組織改革で熟年部を設置

皿山は、平成元年から2年にかけてモデル自治公民館の指定を受け、「健康で文化性豊かな郷土づくり」を目的に活動を続けました。その中で、郷の新しい組織づくりを行い、五十歳から六十五歳の人を対象に熟年部をつくりました。壮年層と老年層の間にあり、そのいづれにも属しない年代の人で構成されています。

部長の坂口輝善さんは「希望者だけで構成され、現在の

部員は十二人です。昨年五月に出来てまだ間がないので、登山や釣、グラウンドゴルフなどを計画しています。部員相互の親善・融和を当面の目標に活動を続けています。九月二十九日には虚空蔵登山を行い部員全員と、そのほかに壮年部の人や一般の人も参加し、総勢二十五人になりました。将来は郷全体のことも考

ソフトボールのメンバーが伝統芸能継承

皿山には、長崎県の無形文化財で二百五十年の伝統をも

えていかなければならないと思います。現在は熟年部を充実させることを目標にしています」と話しています。熟年部で計画したことを有線放送で郷民にも知らせ、郷内の誰でも参加できるように活動が展開されています。

つ人形浄瑠璃があります。ところが、数年前から後継者不足が深刻になっていました。平成元年の夏、突然若い後継者がたくさんできました。ソフトボールチーム「アタックス」のメンバーが加わったからです。

「試しにしてみようか、と始めた浄瑠璃ですが、やってみたら面白く、抜けられなくなりましたね」と笑う福田学さん（35）。メンバーの中で、最年長の福田さんですが、

四十年間浄瑠璃に携わってきた岩永勝吉さんと後継者がいないことの話しをしているうちに「それじゃあアタックスのみんなに話しをしてみる」ことになったのが始めるきっかけだそうです。



溝口政行さん

アタックスの溝口政行監督は「最初は動かし方が分からな

いし、思うように動かず難しかったですね。先輩の人たちの様子を見ていて最近少し慣れてきました。みんなも興味を覚え始めてきています。この一年に五回ぐらい公演していますが、目標を持ってやっているのがいいんでしょうね。ほとんどのメンバーが皿山生まれの皿山育ちで、みんなこれからも続けていけると思います」と話しています。

若い人たちが、ソフトボールに、人形浄瑠璃にと頑張りさらには郷の行事にも積極的に参加し、皿山に活力を与えているのは確かかなようです。

こどもたちが見た 我が町「波佐見」

大すきな町「はさみ」

東小学校四年 高塚 佳伸



美しいしぜんのある町にしたいです。

ぼくの家は、おじいちゃんとおばあちゃんもいっしょに生活しています。おじいちゃんとおふろに入るとむかしのお話をよく聞きます。ちやうど三十五年前ごろのお話です。今のやき物は、ガスでやきます。そのころは、山にはえてるまつの木をもやして、かまをやいてました。何日も、ねないでかまたきをしていたそうです。ほんとうに、大変だったなと思います。けれど、やき上がったまつ白な美しいやき物を見ると、つかれもふきとんだそうです。すばらしいなあと思います。ぼくも、まけないでおじいちゃんやお父さんのあとをついで、がんばりたいと思います。これから、やき物をつくる人とうる人が力をあわせてがんばってほしいです。

ぼくも、はさみの町をだいにします。三十五しゅうねんばんざい。



波佐見のことについて

波佐見中学校三年 平尾 栄子

迎っているかのようにならべてあります。

私は、そんなやきものごとをもっと知りたくて二年生の夏休みに調べてみることにしました。

私たちの住んでいる波佐見は、四百年の伝統がある「やきもの」の町です。

まわりを、有田、嬉野、三川内、川棚にかこまれていて、町の中に一歩足を踏み入れるとあちらこちらの家の軒先に、まだ完全にできあがっていない未完成のやきものが日に照らされて町内への見学者を歓迎



波佐見焼は、朝鮮人陶工「李祐慶兄弟」が、波佐見の村木に窯を築き、やきものを焼いたのが始まりといわれています。そして、文禄慶長年間、朝鮮の役の折、大村家中興の名君第十九代喜前公が朝鮮の陶工を連れ帰り、村木の畑ノ原、脇ノ谷、古血屋で開窯しました。慶長四年のころとされています。その後三股に陶石が発見され、寛文以降各所に窯

波佐見町制三十五周年を記念して、小中学生の作文コンクールを実施しました。

約三百点の応募がありましたが、審査の結果次のおお入り賞が決まりました。

小学校の部

- 最優秀 高塚 佳伸(東小四年)
- 優秀 松田久美子(中央小四年)
- 〃 〃 〃 〃 〃
- 〃 〃 〃 〃 〃
- 〃 〃 〃 〃 〃
- 〃 〃 〃 〃 〃
- 〃 〃 〃 〃 〃
- 〃 〃 〃 〃 〃
- 〃 〃 〃 〃 〃
- 〃 〃 〃 〃 〃

中学校の部

- 最優秀 平尾 栄子(三年)
- 優秀 瀬井 和文(三年)
- 〃 〃 〃 〃 〃
- 〃 〃 〃 〃 〃
- 〃 〃 〃 〃 〃
- 〃 〃 〃 〃 〃
- 〃 〃 〃 〃 〃
- 〃 〃 〃 〃 〃
- 〃 〃 〃 〃 〃
- 〃 〃 〃 〃 〃

金賞を受賞した4人の作品



金賞に

山口照朝くんと
松尾祐子さん
ら四人

をつくり陶磁器製造が急速に
発展しました。江戸時代の末
期には、コンプラ醬油瓶がさ
かんに作られました。明治三
十七年、稗木場陶磁器意匠伝
習所設置。中尾に陶磁器伝習
所ができる。大正十三年、石
炭窯を築き、昭和三十五年に
は、波佐見陶器市がはじまり
ました。

今は、町内には陶磁器に関
連する六百五十の事業所があ

り、従業者六千人のうち、三
分の一にあたる二千人は、町
外からマイクロバス等で通勤
されています。そして、年間
の生産額は二百二十億円にも
達しています。全国の一般家
庭で使われている日用食器の
十五割は波佐見町で生産され
ており、ほとんどが有田焼と
して出荷されています。私は、
いつも五月の陶器市などでや
きものや陶器会社を見学に行
きます。毎日、毎日、同じや
きものが、たくさん作られて
いるのにおどろいています。
私の祖父も、三年前までは、
やきもの作りをしていました。
やきものを自分の子どもみた
いにあつかい、立派な製品を
作ることを毎日楽しみにして
いるようでした。そんな姿を
見て、何かにうちこめるとい
うことが「いきがい」につな
がっているように見えました。

こんな人を作ってもらえるや
きものを使う人は幸せだと思
います。
私たちは、やきものがたく
さんあるので、何も不自由に
感じていませんが、ない所の
人は大切に使っているのだろ
うと思います。旅行先で使わ
れている波佐見のやきものに
であったり、テレビドラマで
使われている波佐見焼を見た
りすると、全国に使ってもら

えるやきもの作れる波佐見
はいいなあと思います。
何よりも一番すばらしいこ
とは、家族みんなで働ける、
そして波佐見町の人みんなで
力を合わせることでできるや
きもの作りがある事です。私
も、これに何か役立つことが
できるようになれたらいいな
と思います。
私は、波佐見に住んでいて
とてもよかったです。

税を正しく理解してもらお
うと、町租税教育推進協議会
では、町内の小学校三年から
六年生の児童を対象に、税に
関する「習字」作品を募集し
ました。

九月二十日には審査会が開
かれ、昨年を約百点上回る四
百三十二点の応募作品の中か
ら、三年の部・課題「びん」
で山口照朝くん(南小)、四年
の部「いね」で松尾祐子さん
(南小)、五年の部「特産」で

福田奈都美さん(中央小)、六
年の部「税收」で石添真理さ
ん(東小)がそれぞれ金賞を受
賞。このほか銀賞に八人、銅
賞に十二人、佳作に二十人が
選ばれました。

なお、入賞作品は十一月に
開かれる町文化祭や、佐世保
玉屋での税金展などで展示さ
れることになっています。
入賞者は次のとおりです。
〈銀賞〉▼三年の部〓馬場能
里子(東)、石橋美保子(中央)、
▼四年の部〓浜田まみ(南)、
小柳まりえ(南)、▼五年の部
〓中尾聖代(東)、加藤礼子(南)
▼六年の部〓松尾育美(中央)、
小佐々玲子(南)
〈銅賞〉▼三年の部〓山田啓
太(東)、杉本将太(中央)、浜
田えみ(南)▼四年の部〓中尾

和代(東)、澤村友里(南)、松
林幸恵(南)▼五年の部〓馬場
孝順(東)、原純子(中央)、山
口正武(南)▼六年の部〓一瀬
幸恵(東)、松井美香(中央)、
上田賢一郎(南)

〈佳作〉▼三年の部〓小さか
のり子(東)、山口ゆうき(中央)、
服部麻衣子(中央)、上田貴之
(南)、古川さやか(南)▼四年
の部〓山田悠子(東)、一瀬大
輔(東)、岩永由紀(東)、小佐
々やすのり(南)、平野淳一郎
(南)▼五年の部〓前川和彦(東)
武宮法紹(東)、浅田ひとみ(中
央)、前川恵理子(南)、山下増
美(南)▼六年の部〓本田恵子
(中央)、松尾知加子(中央)、
児玉芙美(中央)、直井文秀(中
央)、岩永瞳(南)



山中浮立を奉納

400年の歴史を持つ湯無田郷の山中浮立が、9月22日、熊野神社に奉納されました。

産業会館から熊野神社までは1時間以上かけて道浮立が行われ、沿道には多くの人が出て見物していました。神社境内では、小学3年から高校生までの子どもたちが「奴」「天人」「鬼人」など7つの舞い浮立を披露しました。



激しいぶつかりあい 鹿山相撲

およそ400年の歴史があるといわれている宿郷の鹿山相撲が、9月23日、鹿山神社境内で行われました。

今年は、宿郷内や長崎、島原、鹿島、下関などから、およそ200人の力士が参加して、力の入った激しい相撲が繰り広げられました。

小学生によるチビッコ相撲や、郷内の班対抗、一般の人による3人抜きや5人抜きなど、体中にスリキズを負いながらも必死の顔で取り組んでいました。

ある樫の木のお話

9月17日、こども劇場では、勤労者体育センターで劇団仲間による「ある樫の木のお話」を上演しました。

笑いやけんかをしてしながら平和な暮らしをしていた樫の木にすむ動物や鳥たちが、ある日、人間が周りの木を切り始め、自分たちの生活に不安を覚え始めます。

リスやうさぎなどが必死になって樫の木を守る姿をとおして、環境破壊を防ごうと訴える内容に、集まった親子など約450人は真剣に見入っていました。





優勝した堀池さん
親子のインタビュー

笑いと感動

仮装大賞

アイデアやユーモアを競う「第3回仮装大賞」が9月15日、勤労者体育センターで開かれました。

今年は、大村と嬉野からの参加もあって8チームが出場。堀池文子さん・祐大くん母子のチーム「わんぱくはうす」の出し物「交通マナー」が優勝しました。また、南高布津町の無双太鼓や桂雀三郎の落語もあり、訪れた550人の人たちは、笑いと感動のひとつきを過ごしました。



新しいピアノが入ったよ

町公民館に待望の新しいピアノが入り、児童合唱団がこのほどコンサートを開きました。

このピアノは、日本生命財団の助成で買ったグランドピアノで、団員たちも今後の練習に弾みがつくと喜んでいます。

コンサートでは、日ごろ練習した成果をお母さんやお父さん、来賓などに披露。「もみじ」など2曲は、会場の人たちと全員で歌いました。

ゴゼ宿の会

日本でただ一人のゴゼ唄伝承者竹下玲子さんを招いて、9月29日、宿コミュニティセンターで「波佐見ゴゼ宿の会」が開かれました。

ゴゼは、目の見えない女の人が三味線を弾きながら歌や物語を聞かせながら旅をして回る人のことで、かつては人々の心を慰めてくれていました。

この日は、約90人のお年寄りなどが集まり「葛の葉子別れ」など懐かしい歌に聞き入っていました。



ひろば

お嬢さん
こんにちは

では、

クラブ紹介

上田流尺八「風の会」

「尺八の良さは、なかなか一口ではいえないですけど…無の心になってやれるのがいいようですね」と会員の一人。

「風の会」は現在八人。職業はいろいろで、公務員や豆腐屋さん、レストラン経営者などがいます。

練習は週に一回程度ですが、それぞれ都合のいいときに先生の家にいって練習します。これは、レベルが違うと練習する内容が違い、一緒には難しいからとのこと。

会ができて十二年。会員はほとんどがその後尺八を始められています。会の発足当時から練習を続けている人もいます。ただ、一年程度の人もいます。ただ、指導にあたる原田

秀風さんは戦時中ビルマの戦地で自分の師となる人に会い、自分でも吹いてみたいと、一カ月ぐらいかかって尺八を作ったそうです。それ以後四十六年吹き続けています。

原田さんによると「仏教の禅と同じで、修行僧が、無の境地を得るため尺八の修行を行っていた」そうです。

会の活動は、町の文化祭や地区の夏祭りに出演したり、老人ホームの慰問などを行っています。

九月二十一日には、めったに顔を合わせないメンバー全員が集まって久しぶりの会が開かれ「夕顔」などを演奏。静かな部屋いっぱい尺八の落ち着いた音色が響き渡っていました。



森浦春美さん(22)
(宿郷)
有重山陶器勤務

- 趣味
献血
カラオケ大好きです。
- 特技
歌を歌うこと
- 好きな言葉
「素直」
- 波佐見について
22年間、私を育ててくれた町。自然がたくさんあって、住んでいる人もあったかい心を持っている町。これから発展して行ってほしい反面、いつまでもそんな町であってほしいと思います。

きれいでしょう



山中浮立で一番廻しを踊った

馬場元親くん
(東小5年)

— 道浮立 下内海にて —

みんなの

シリーズ

人



「アツノガイジン」オー・ノー

イギリスから英語指導助手として
波佐見高校にやってきた

マリィ・クレア・ジョイスさん

イギリス北部のニューカッスル市出身。長崎県では生きた英語を教えるため、外国から多くの英語指導助手を招いています。その一人としてジョイスさんが波佐見高校にやってきました。現在週に十三時間受け持ち、全クラスで教えています。「生徒たちは、友達のようにしてくれ、親切で歓迎してくれているようです。ただ、おとなしくはずかしがりやが多いですね」来年七月までの一年間の予定で、木曜日は波佐見中学校でも教えています。

「波佐見では、バドミントンをしたリ舞踊を習っています。柔道もぜひしてみたいです。ただ、近くの店などで『アツノガイジン』と言われるたらビックリしてしまいます」日本のことを一生懸命知ろうとするジョイスさんと、気軽に声をかけてみてください。

町の文化財

県史跡

野々川

クリシタン墓碑群

野々川は、今でこそダムができ県道が整備されましたが、以前は人里離れた別天地でした。クリシタン弾圧のきびしかった江戸時代三百年を経て、

今なおクリシタン墓碑群が残っているのは、この地形のためでしょう。ツノオ墓地を中心にタケンタ墓地などに十数墓が発見されています。

墓は、小さいのは四十センチから大きいものは百三十センチほど

の野づら石に、素人が刃物で十字を刻み、地面に突き刺した形で建っています。

領主大村純忠は、永禄六年（一五六三年）近臣二十数名とともにクリスト教の洗礼をうけて以来、領民へも半強制的に入信させました。このため、波佐見の人もほとんどクリスト教徒となりました。

しかし、その後の秀吉の禁教令、徳川幕府の徹底した弾圧でクリスト教徒は根絶したはずですが、それなのに、波佐見では島原の乱後七年もたった正保二年（一六四五年）に、老女が残したクリシタン道具から隠れクリシタンが発覚し、藩の浮沈にかかる大問題となったことでもあります。

踏み絵を行い、一人のクリシタンも許さなかった江戸時代を経て、これらの墓碑群が現存することは、宗教史上重要なことです。

昭和四十七年に、県文化財に指定されました。

村木東 1 決勝 0 稗木場

朝長 息詰まる投手戦 三岳



優勝した村木東チーム

村木東ノーヒットであげた一点守る

町民ソフトボール大会が、九月二十二日、甲辰園グラウンドで開かれました。

八チームが参加して開かれたこの大会、大差の試合が多かったのですが、決勝は村木東の朝長投手と稗木場の三岳投手の息詰まる投手戦が見られました。

村木東の朝長投手は低めを丁寧につくピッチング。稗木場の三岳投手はスピードボールで三振を取りにくいピッチ

ング。両投手の投げ合いで、三回まではチャンスらしいチャンスはありません。村木東の四回裏の攻撃は、先頭打者が三振で次打者も三岳投手の高めスピードボールを強振しましたが、かろうじてボールの下に当たり簡単な三塁フライ。これを、稗木場のサードが軽く処理しようとして落球。ランナー一塁で始めてのチャンス。ここで村木東はランナーを確実に二塁に送ろうとバント。ところが、稗木場はバント処理を誤り一塁へ悪送球。ボールがファールグラウンドを転々とする間に一塁ランナーはホームを駆け抜けました。村木東は、ノーヒットで一点を入れました。これに対し、稗木場は五回表、三岳投手自ら右中間をやぶりフェンスに達する当たり。懸命の力走でホームをつきますが、村木東の見事な中継プレイにあいホーム寸前タッチアウト。最終回の七回にも一死・三塁のチャンス。ここで村木東は満

塁策にでます。次の打者は外角低めを強振しましたがピッチャーゴロ。捕手から一塁にボールが転送されダブルプレイで試合終了。朝長投手は後半のピンチも丁寧な低めをつくピッチングで連打を許さず完封しました。

試合結果は次のとおりです。

一回戦
 村木 西 13 - 3 金屋
 稗木 場 16 - 0 皿山
 村木 東 7 - 1 永尾
 湯無 田 7 - 5 折敷瀬

準決勝
 稗木 場 3 - 0 村木 西
 村木 東 8 - 3 湯無 田

決勝
 村木 東 1 - 0 稗木 場

石本博記さん 三冠王

軟式野球リーグ戦

軟式野球協会リーグ戦の最終試合が九月五日に行われ、鴻ノ巣クラブが二年連続の優勝を飾りました。

1勝7敗。
 ▼個人成績▽打率①石本博記(鴻ノ巣) 5割7分1厘②森直武(同)、富永良博(ジャイアンツ)、太田宏郁(コスモス) 5割▽本塁打①石本博記(鴻ノ巣) 3本▽打点①石本博記(鴻ノ巣) 10点②田島昭彦(ジャイアンツ)、中島俊裕(ローズ) 6点▽盗塁①村川和法(鴻ノ巣) 9個②太田宏郁(コスモス)、今井伸悟(陶球) 8個▽防御率①川浪貢(ジャイアンツ) 0.000

同リーグ戦には九チームが加盟。五月十三日に開幕し、合計三十六試合を戦ってきた。個人成績の打撃部門で、石本博記選手(鴻ノ巣)が同協会リーグ戦初の三冠王に輝きました。

成績は次のとおりです。
 ▼総合順位①鴻ノ巣クラブ 8勝②陶球クラブ 6勝1敗1分③ジャイアンツ 4勝3敗1分④コスモス、ローズ、ハワイトスターズ 4勝4敗⑦メッツ 3勝5敗⑧センターズ、中尾

成績は次のとおりです。
 ▼総合順位①鴻ノ巣クラブ 8勝②陶球クラブ 6勝1敗1分③ジャイアンツ 4勝3敗1分④コスモス、ローズ、ハワイトスターズ 4勝4敗⑦メッツ 3勝5敗⑧センターズ、中尾

成績は次のとおりです。
 ▼総合順位①鴻ノ巣クラブ 8勝②陶球クラブ 6勝1敗1分③ジャイアンツ 4勝3敗1分④コスモス、ローズ、ハワイトスターズ 4勝4敗⑦メッツ 3勝5敗⑧センターズ、中尾

郡民体育大会

体育の祭典に集る

波佐見 軟式野球・軟式庭球で優勝 テニス・バドミントン

第三十八回郡民体育大会が、九月八日、彼杵中学校を主会場に開催されました。

波佐見からも八種目に約二百人が参加。まだ夏の日差しが強い一日に力いっぱい試合を見せました。彼杵中学校で開かれた開会式では、波佐見早起き庭球愛好会が社会体育優良団体として表彰されました。成績は次のとおりです。



彼杵中学校での開会式

総合成績①川棚20点②波佐見16点③東彼杵10点
種目別成績

- ▼バレーボール▽総合①川棚②波佐見③東彼杵▽一般男子
- ①川棚②波佐見③東彼杵▽一般女子①川棚②波佐見▽婦人
- ①川棚②波佐見③東彼杵▽壮年①波佐見②川棚
- ▼卓球▽総合①川棚②東彼杵③波佐見▽一般男子団体①波佐見②川棚③東彼杵▽同個人
- ①増田穂積②田口裕二③増田周二▽一般女子団体①川棚②波佐見③東彼杵▽同個人③岩永久美子▽壮年男子団体①川棚②東彼杵③波佐見▽壮年女子団体①川棚②波佐見③東彼杵▽ベテラン団体①東彼杵②川棚③波佐見▽同個人①樋口倉雄
- ▼軟式野球▽総合①波佐見②川棚③東彼杵
- (①波佐見野球倶楽部)
- ▼テニス▽総合①波佐見②川棚▽成年男子①波佐見②川棚



全国大会出場メンバー

少林寺拳法の第十四回長崎県大会が、六月九日、大瀬戸町で開かれ、松尾讓二さん・匡悟くん父子が親子の部で、本多慶久さんと村瀬広澄さんが壮年の部で、本多慶久さんと松尾讓二さんと長男の匡悟くん(中央小六年)は、平成元年につづき二回目の全国大会出場。ともに六年のキャリアで、匡悟くんは小学一年から少林寺を始め現在初段、讓二さんは三段です。少年有段の部に出場する本多慶久さんと瀬井広彦くんは中央小五年一組で机を並べる友達同士。一人とも現在は一級ですが、県大会はクラス上の有段の部に出場しての優勝でした。壮年の部に出場する本多慶久さんは、平成元年に団体演

少林寺拳法

11月の全国大会に出場

組演武で3組6人

が壮年の部で、本多慶久さんと瀬井広彦くんが少年有段の部の組演武で優勝。十一月二十三日に奈良市で開かれる全国大会に出場します。

舞で全国大会に出場して、今年が二回目。三年ほどのキャリアで現在初段です。また、村瀬広澄さんはキャリア一年で全国大会出場を手に入れた



村瀬広澄さん

した。「以前子どもがやっていましたし、先生が『社会に役立つようになりなさい』と話されるなど精神的な教養に引かれて少林寺を始めました。それに、このクラブは明るくていい人ばかりですからね。仕事で練習がなかなかできないんですが、全国大会は度胸だめしのつもりで行ってきま」と村瀬さん。毎週月曜日と木曜日の東小体育館は、約四十人のクラブ員たちの威勢のいい掛け声が響き渡っています。



文化の祭典

〈文化の日〉〈振替休日〉

11月 2日 3日 4日

体育センターにて

展示の部 (9:00~20:00
ただし、4日は17:00まで)

絵画・陶芸・書道・生花・写真・手工芸
文芸・洋裁・和裁・菊花・盆栽・えびね
郷土資料・民具・小中学生作品

子ども
劇場公演

11月30日19:00~
体育センター

舞台劇「傘屋のちびべえ〜」

芸能発表 3日 9:00~

消防音楽隊・尺八・詩吟・バレエ
波佐見節道踊り・舞踊・華道吟



出品要領

出品者 町内に在住または
勤務している人
出品申込 10月24日まで
に町公民館
へ

搬入は、10月30日
31日に体育セン
ターへ

公 九 響 演

11月22日(金)

18時開場、18時30分開演

オーケストラを聴こう
波佐見からもコーラスが
参加「西海讃歌」を合唱
します。



農業感謝祭

11月 9日 10日

農村環境改善センター

9日(前夜祭) 18:30~21:00

スライド・パネルディスカッション

10日 (9:00~16:00)

もちつき・みかん狩り・縄ない
丸太切り・ビール早飲み・演芸
くだもの皮むき大会・ふれあいコーナー
特産品コーナー・浮立(鬼木浮立)
綱引き大会・バザー



病氣一口メモ

その67



風邪をひいたのではないかと体温を計ってみます。熱はないとすればここ数日間の生活をまず振り返ってみましょう。

発作的か、そうでないか、発病の時期は朝か、昼か、夜か、頭痛の部位は、前頭部か、側頭部か、後頭部か、あるいは後頭部か、頭に帽子をかぶったような感じがするとか、しめつけられるようだとか、何か心配事はないか、吐き気はないか、目を開けられないほど痛いかというように頭痛の種類も多種多様ですが、感じるままを話して諸検査を受ける

私たちの願いは、何といっても健康です。でも、ちょっとした油断でいろんな病気やけがに見舞われることがあります。こんな時、お世話になるのが、お医者さん。

このコーナーでは、東彼医師会の皆さんから、病気やけがに関する心がけや応急措置などについて、ご意見をお寄せいただき、みなさんと一緒に健康について考えてみたいと思います。

頭痛について

東彼杵郡医師会 野中武彦 (波佐見町)

ようにしてください。

大多数は生命にさほど関係ありませんが、時に重大な疾患の場合もあるということ念頭においておきます。

精神的な不安や緊張の持続を解消または軽減するように努め、一日の中に適度に自分なりのリラックスタイムを設けることも必要と思われま。また、換気の悪い部屋に居ると酸素欠乏となり頭痛がおこります。これから冬に向かつて特に注意しなくてはなりません。

頭痛は最もありふれた症状の一つですが、その原因種類は多種多様であり予後もさま

ざみです。重大な疾患とは髄膜炎、くも膜下出血、脳腫瘍、水頭症、小脳出血など迅速に対処すべき場合もあります。



こんにちは 保護者様です

カゼを予防しよう

だんだん寒くなり、風邪が流行する季節を迎えます。「生まれてこのかた、風邪もひいたことない」という健康な人もいますが、日本人は平均して年に五〜六回は風邪をひくといわれています。昔から「風邪は万病のもと」といわれます。

「たかが風邪ぐらい」と放置し、肺炎、気管支炎、結核など、呼吸器の病気の早期発見の機会を逸しないようにしましょう。

① バランスのとれた食事を!! 体の抵抗力をつけるためにはタンパク質が、皮膚や

粘膜強化のためにはビタミンAとCが欠かせません。

② 皮膚を鍛えよう!!

ふだんから鍛えておくと新陳代謝が活発になり、温度差など環境の変化に適応できます。

③ 心身に

ゆとりのある生活を!! 疲労やストレス、睡眠不足で、心身にゆとりのない人を風邪ウイルスがねらっています。常に体調を整えましょう。

◎ インフルエンザの予防注射を十一月に行います。日程は、健康づくり予定表で確認してください。

健康テレフォンプログラム

月	10	月
月	小人症について	
火	発育期のスポーツと健康	
水	川崎病	
木	うおの目とたこ	
金	燃えつき症候群-あなたは大丈夫?	
土・日	陰部ヘルペス	

	11	月
月	C型肝炎	
火	やけど	
水	性のめざめ	
木	仮性近視	
金	歯みがき剤について	
土・日	妊娠初期の注意	

長崎 ☎ 0958-26-5511
佐世保 ☎ 0956-23-4300

犬の登録・注射

生後91日以上飼育した犬は、すべて毎年1回の登録と狂犬病予防注射が義務付けられています。

今年まだ受けていない犬は、下記のとおり実施しますので、この機会に必ず受けてください。

期日 10月21日（月）

永尾改善センター	10:00~10:30
内海産業会館	10:45~11:15
勤労福祉会館	11:30~12:00
町公民館	13:00~13:30
八島公民館	13:45~14:15
農村環境改善センター	14:30~15:00

年末調整説明会

年末調整は、給与所得者の1年分の所得税を計算する、源泉徴収の総決算ともいえる非常に大切な手続きです。

年末調整の説明会を次のとおり行いますので、該当者は出席してください。

期日 11月21日（木） 午後1時30分～

場所 井石郷 勤労福祉会館

たばこは町内で買ひましよう

税について知るチャンス

今年も、11月11日から『暮らしを支える税』をメインテーマに、税を知る週間が始まります。

佐世保税務署では11月10日（日）、玉屋デパートで「税のひろば」を開設します。税の無料相談や楽しみながら税を知っていただくため、多彩な催しを準備しています。この機会に家族そろって参加してみませんか。

引揚者の皆様へ

平和祈念事業特別基金では、先の大戦に際し本邦以外の地域からの引揚者で、特別交付金の支給要件に該当した人に対し、書状（内閣総理大臣名）を贈呈することになりました。

書状の贈呈は、請求に基づいて行われますので、必要な書類を添えて「平和祈念事業特別基金」あて直接送付してください。

詳しくは、役場住民福祉課にお尋ねください。

ねんきん

免除を受けた期間の保険料は「追納」できます

保険料の免除を受けた期間は納めなくてもよいことになっていますが、年金額を計算する場合、保険料を納めたときの3分の1に減額されます。

将来有利な年金を受けるために、免除された期間の保険料を納めることができます。これを「追納」といって、10年前の分までさかのぼって納めることができます。

この場合、免除を受けた当時の保険料の額で納めることになっていますが、昭和61年4月分からは免除を受けた当時の額に一定の率を掛けた額となります。

詳しいことは、役場年金係へお尋ねください。

雇用保険「さわやか受給」推進月間

平成3年11月1日～11月30日

雇用保険とは、失業された労働者の生活の安定を図り、再就職を促進することを目的としています。

ところが、働いている事実を隠したまま、雇用保険の支給を受けるなどルールに反した不正な受給がまだ後を断ちません。失業給付の費用は、労働者および使用者の方々から納めていただいた保険料と、国民の皆さんが納められた税金によって賄われています。一部の受給者によって不正な受給が行われることは、制度の健全な運営を阻害することになります。

11月は「雇用保険「さわやか受給」推進月間」です。正しい受給をお願いします。

労働保険の加入はお済みですか

10月は

「労働保険適用促進月間」です

労働者を一人でも雇用している事業主は、労働保険（雇用保険+労災保険）に加入する義務があります。

労働保険は、労働者が失業した場合の失業給付や、業務災害等の災害補償など、労働者の生活の安定を図るための制度です。

労働者が安心して働けるよう今すぐ労働保険の加入手続きを済ませましょう。

詳しくは、大村公共職業安定所（☎0957-52-2101）へお尋ねください。

お詫び

9月号でお知らせした標語コンクール入選作品のうち、有福松代さんの作品は田崎房代さんの作品でした。お詫びして訂正します。

平成3年10月号 広報はさみ 16

ぼしゅう

青年海外協力隊に 青春をかけてみませんか

青年海外協力隊事務局では、現地の人たちとともに生活をしながら、開発途上国の新しい国づくりに協力する隊員を次の要領で募集します。

- 資格 20～39歳の青年男子
 - 募集期間 平成3年11月末日まで
 - 派遣期間 原則として2年
 - 説明会 日時 11月13日(水)18時30分～
場所 佐世保市コミュニティセンター
- 詳しくは、県国際交流課(☎0958-28-0302)へ

有田窯業大学校

- 募集人員 陶磁器科 製造技術専攻 10人
企画デザイン専攻 20人
 - 出願資格 高等学校卒業以上の人(見込者を含む)および同等の学力を有すると認められる人
 - 受付期間 平成4年1月6日～1月17日
- 詳しくは、有田窯業大学校(☎0955-42-3144)へ

千綿女子高等農学園

- 高い教養と、たくましい実践力をそなえた女子後継者を養成するため、4年度の生徒を募集します。
- 募集人員 25人
 - 応募資格 中学校卒業者または卒業見込者
 - 願書受付 平成4年2月10日～2月20日

研究科卒業と同時に佐世保中央高等学校の卒業資格が得られます。詳しくは学園(☎0957-47-0230)へ。

休 日 当 番 医	10月20日	下川医院(川棚)(82)4126
	27日	青木医院(川棚)(83)3355
	11月3日	山道医院(波佐見)(85)2121
	4日	山住医院(東彼杵)0957(46)1162
	10日	本川医院(川棚)(82)2010
	17日	八並整形外科医院(波佐見)(85)5775
	23日	松村医院(東彼杵)0957(47)0709
	24日	みやた小児科医院(川棚)(82)3735

地元への就職情報を

「Uターンコーナー」設置

大村公共職業安定所では、11月1日から「Uターンコーナー」を設置します。

現在他県に転出してしている地元出身者で、Uターンを希望する人に企業の求人情報を知らせたり、Uターン希望者を採用しようとする企業に人材情報を提供するものです。

Uターン希望者、Uターン採用希望企業などの情報提供や問い合わせは、大村公共職業安定所(☎0957-52-2101)または役場商工観光係へ。

犯罪捜査にご協力を

日本の犯罪率は、アメリカ、イギリス、ドイツなどと比べて非常に低くなっています。これは殺人・強盗などについてもいえ、世界で最も治安の良い国であることがうかがえます。

しかしながら、最近数府県にまたがる連続誘拐殺人事件、強盗事件などが増加しています。盗難車両を使ったり、逃走・行動範囲が広いため、捜査が大変困難になっています。

これまでの治安の良さを維持し、さらに向上させるため、警察の捜査・取り締まりに加え皆さんの積極的な通報など犯罪捜査に対するご理解とご協力をお願いします。

- 犯罪について知っていることは積極的に通報を!
- 聞き込み捜査にご協力を!
- 被害に遭ったときは必ず届け出を!
- 「事件かな?」と思ったら110番通報を!
- 指名手配犯人の検挙にご協力を!

みんなの協力で明るい町を!

町の事業

9月分の町の工事発注状況をお知らせします。

- ▶畑ノ原窯跡保存整備工事(第一期) 2678万円(鴻池組)
- ▶普通河川中ノ川内川災害関連工事(3工区) 911万円(成富建設)
- ▶町道筒迫線舗装工事 144万円(西部道路)
- ▶町道原田線舗装工事(維持補修) 185万円(中外建設)
- ▶多目的広場整備工事 144万円(小佐々建設)
- ▶普通河川木場山川災害関連工事(1工区) 2266万円(川内建設)
- ▶ " " (2工区) 2884万円(山口住建工業)
- ▶ " " (3工区) 2987万円(上山建設)
- ▶ " " (4工区) 2987万円(成富建設)
- ▶ " " (5工区) 2987万円(恋塚建設)
- ▶内ノ波線特改四種工事 937万円(西部道路)
- ▶ " " (単独) 618万円(西部道路)

ストップ ザ・交通事故

1月から9月までに発生した町内の事故の状況をお知らせします。

- ・発生件数 36件 (+8)
- ・死者 3人 (+3)
- ・傷者 49人 (+19)
- ・物損 123件 (+2)
- ・飲酒運転検挙 24人

交通事故巡回相談

開催日 10月25日(金)
11月22日(金)
時間 10時~16時
開催場所 川棚町役場

善意の窓

○香典返しにかえて

- 三股郷 山口 為義様
- 御尊父故山口青茂様
- 村木郷 永田 義和様
- 御子息故永田和俊様
- 宿郷 納富 政彦様
- 御母堂故納富喜久江様
- 協和郷 山口 一成様
- 御母堂故山口ハルヨ様
- 永尾郷 松尾 福馬様
- 御夫人故松尾千鶴子様
- 井石郷 長岡 晴次様
- 御母堂故長岡チセ様
- 井石郷 長崎 レイ様
- 御主人故長崎喜佐男様
- 湯無田郷 井関久美子様
- 御尊父故井関近太郎様
- 湯無田郷 石橋 勇様
- 御母堂故石橋イヨ様
- 井石郷 山口 泉様
- 御尊父故山口友治様
- 宿郷 植田美千代様
- 御子息故植田哲郎様
- 皿山郷 今里 陽子様
- 御母堂故今里末子様
- 三股郷 松尾 華枝様
- 御主人故松尾貢様
- 皿山郷 朝田 幸子様
- 御主人故朝田留重様
- 野々川郷 池田 正様
- 御母堂故池田テイ様
- 折敷瀬郷 飯笹マサエ様
- 御主人故飯笹辰夫様
- 平野郷 古川 勝様
- 御夫人故古川榮子様

来月の納金

- 国民健康保険料
- 国民年金保険料
- 水道使用料

以上の方々から本町社会福

社事業資金に寄付していただき
ました。

それぞれの寄付に対し厚く
お礼申し上げます。

波佐見町社会福祉協議会

お誕生おめでとう

子の名 保護者 住所

- 前田 泰敬 稔 中尾郷
- 河野 美純 哲 湯無田郷
- 林 洗佑 一郎 湯無田郷
- 今里 麻紀 和也 湯無田郷
- 今里 友紀 " "
- 江良 航 重幸 折敷瀬郷
- 一ノ瀬 真 貞秋 折敷瀬郷
- 山口 利奈 末利 折敷瀬郷
- 福田 悠理 孝信 宿郷
- 宮崎 望 博俊 田ノ頭郷
- 山口 千品 庄蔵 乙長野郷
- 楠本 慎吾 寛 乙長野郷
- 梅野 貴之 浩彦 協和郷

ご結婚おめでとう

- 増山 太郎 西海町
- 富永 礼子 永尾郷
- 石橋 浩二 佐世保市
- 田中身 江子 湯無田郷
- 田中 俊裕 宿郷
- 尾崎 志 折敷瀬郷
- 岩永 和宏 折敷瀬郷
- 浦 千春 佐世保市

おくやみ申し上げます

- 岸川 正秋 折敷瀬郷 32歳
- 山口 妙子 宿郷 61歳
- 増田 末夫 村木郷 61歳
- 地本 祝語 稗木場郷 61歳
- 黒崎満太郎 田ノ頭郷 77歳
- 岩永 フデ 志折郷 80歳
- 副島 常雄 折敷瀬郷 68歳
- 川内 末男 井石郷 64歳
- 山口 ユイ 中尾郷 90歳

92歳の虚空蔵登山

皿山の橋口兼造さん



中央で立っている人が橋口さん(頂上にて)

皿山郷の五十歳から六十五歳で組織する熟年部と壮年部では、九月二十九日、川棚町の虚空蔵岳登山に挑戦。今年九十二歳になる橋口兼造さんや七十歳の中尾雪江さんも元気に登りました。

川棚町木場の登山口を十時に出発。一行二十五人は、台風十九号でなぎ倒された杉や、杉の葉の散乱で滑りやすくなった登山路に悪戦苦闘しながらも十一時三十分には元気に全員登頂。

橋口さんの若い人にも負けない元気に参加した皆さんはビックリしていました。